

キラリと光るダイセル製品のお得情報が満載！
キラきら情報通信@ダイセル

9月8日、
ダイセルは創立100周年
を迎えました。



100th
Surprise! DA future.

1919年(大正8年)セルロイド会社8社の合同により、大日本セルロイド株式会社が創立されました。
大日本セルロイドって？ なぜ合同で生まれたの？

100周年を機に、カラム以外のダイセルのことを是非知ってください！

詳細はこちらから▶▶

<https://www.daicel.com/profile/history1908.html>

ダイセル100周年記念アニメ
～受け継がれるモノづくりへの想い～

100年に渡り受け継がれるモノづくりへの熱い想いを
アニメーションにしました。

創立100周年
記念アニメ

詳細はこちらから▶▶

<https://www.daicel.com/anime/index.html>

『CM観ました！』とお声掛けいただくこと
も多いダイセルのCM

観たことのある方もない方も、
是非下記をご覧ください♪

詳細はこちらから▶▶

<https://www.daicel.com/tv-cm/>

化学で
未来を
変えるの

ダ
DAICEL
株式会社ダイセル

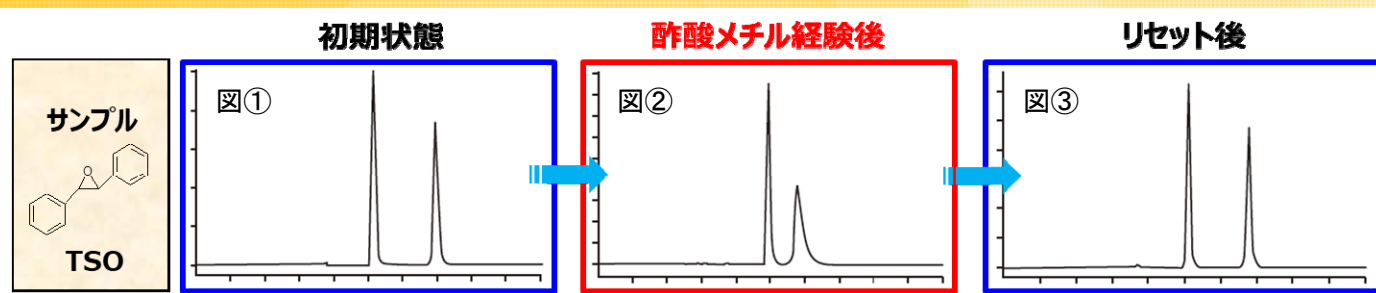
あなたのそのトラブルも解決できるかも!?

ダイセル カラム“あるある” 第2話

さて7月号から「ダイセルカラム“あるある”」のコーナーを開始いたしました。お気づきになりましたでしょうか？今月も、なるほど～“あるある”、と思って頂ける内容を厳選いたしました。

今回は「**耐溶剤型多糖系キラルカラム (iCHIRALシリーズ)**」の“あるある”でございます。
まずは、こんな嘆き(悲鳴)をお聞きください。

「うそ～、壊れにくいカラムと聞いていたのに、**酢酸メチル**流しただけで**TSO^{注1)}**のピーク分離が悪くなってしまったよ、どうしよう…(図①→図②)。」



カラム: CHIRALPAK IA、移動相:n-Hex./EtOH=90/10、流速:1 ml/min、温度:25°C

このような場合、**カラムは壊れておらず、分離が可逆的に変化してしまった**、というケースが往々にしてございます。取扱説明書記載の「カラムリセット条件」をお試しいただけないでしょうか。

図③のように完全に元に戻ることも、多々あるのでございます。優れたキラル認識能力をもつセクターである多糖誘導体ポリマーは、特に溶解溶剤や膨潤させる溶剤と接触すると、多糖の高次構造の変化がキラル認識に影響を及ぼすと考えられており、そのため、出荷時の元の構造に戻す＝リセット(初期化)、というわけなのでございます。

では、今回のヒトコト…

“アイ(i)タイプ 壊れたと思う 前にリセット 元通り”

お粗末様でございました。

注1) *rac-trans*-Stilbene oxide の略称。ほとんどの多糖系キラルカラム出荷検査表で使用されている化合物です。

発行元: 株式会社ダイセル CPIカンパニー

〔東京〕 〒108-8230 東京都港区港南2-18-1 JR品川イーストビル

TEL: 03-6711-8222 FAX: 03-6711-8228

〔大阪〕 〒530-0011 大阪市北区大深町3-1 グランフロント大阪タワーB

TEL: 06-7639-7221 FAX: 06-7639-7228

ヘルプデスク フリーダイヤル: 0120-780-104

HP: <https://www.daicelchiral.com/>